

HOPES

ホープス セカンド

2nd

ふるなわせん飯館村の「今」を伝えたい

庄司 幸智 れん（草野）
庄司 幸人 ゆきひと さん（草野）

この3月に「いいたて希望の里学園」初の卒業生として学び舎を卒立った2人は双子の兄弟です。全村避難となつたのは、草野幼稚園の中学校は村内の校舎に通いました。「飯館村がここまで復興したということを伝えたい」と幸智さん。幸人さんは「震災で失つたものの方が多いけれど、（皆さんに）『今』を楽しんでほし」と話しました。大役を担い、想いを込めて、飯館の空の下、聖火を灯して駆け抜けます。

たけれど、楽しかった」「ずっと同級生と一緒に、最後まで



なりました。が、2人は堂々と、その舞台に立とうとしていました。「飯館村がここまで復興したということを伝えたい」と幸智さん。幸人さんは「震災で失つたものの方が多いけれど、（皆さんに）『今』を楽しんでほし」と話しました。大役を担い、想いを込めて、飯館の空の下、聖火を灯して駆け抜けます。

村で暮らす祖父母も1年越しで2人の勇姿を楽しみにして待っていたそうです。

はそれぞれの高校生活に期待をふくらませています。

幸智さんが、東京2020オリンピック聖火リレーのランナーに、幸人さんがサポートランナーの1人に選ばれました。しかし新型コロナの影響で、オリンピックは1年間の延期。今回も感染症対策が優先される中でのスタートとなりましたが、2人は堂々と、その舞台に立とうとしていました。「飯館村がここまで復興したということを伝えたい」と幸智さん。幸人さんは「震災で失つたものの方が多いけれど、（皆さんに）『今』を楽しんでほし」と話しました。大役を担い、想いを込めて、飯館の空の下、聖火を灯して駆け抜けます。

楽しく過ごせた」と2人。今はそれぞれの高校生活に期待をふくらませています。



学園では幸智さん（左）がバドミントン部で、幸人さん（右）が陸上部で部長を務めました。2人は福島市内の別々の高校に進学します。聖火リレー3日前に話を聞きました。

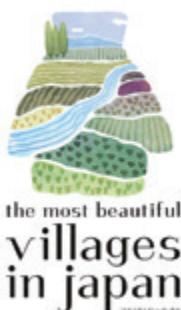
聖火リレー当日の様子。スタート前のミニセレブレーションにて。交流センター「ふれ愛館」に到着した幸智さん、幸人さんとサポートランナーの仲間達。

はそれぞれの高校生活に期待をふくらませています。

◀ 編集後記 ▶

● 今号をめぐる、広報から異動となりました。これまで関わってくれた全ての皆さんへ心からありがとうございました。お伝えします。多くの村民の皆さんと言葉を交わし、写真を撮り続け元気と笑顔をもらっていました。次にお会いした時にはまたおしゃべりさせてください。村民の皆さんのが主役の広報いいたてを今後ともよろしくお願いいたします。（木幡）

● 新型コロナの影響が続く不安定な状況下でスタートした聖火リレー。その中で、それぞれの思いを持つて聖火を掲げるランナーの皆さん。困難な時だからこそ、自分の声に、異なる声に、さまざまな立場の声に、耳を澄まなくてはと感じます。対策の徹底に皆で協力し、聖火の軌跡が、関わる人の真心を未来に伝えるものになるよう心から願います。（星）



飯館村は「日本でも最も美しい村」連合に加盟しています。